



生徒総会

生徒総会は、2～3年生から発言が多数あってなかなか面白かった。ただ、傍聴していた（当然のことながら「生徒総会」は生徒の会であって、我々教員が余計な口出しはしないのが基本であろう）立場からすると、ちょっと首をかしげたくなるような場面もいくつかあった。

*

一つは、本来生徒会が扱う課題ではないことに対して、生徒会長が長々と答弁していたことである。

例えば、正門の鍵の問題は学校管理の問題であって、生徒である君たちが責任を負うべきことではない。それは、我々教員側の問題なのである。ただ、生徒会として、生徒の要望を汲み上げ、それを学校に働きかけるということはあってイイわけだから、発言者が質問の形で問題提起することは当然「あり」であろう。しかし、それに対する答弁は「今の意見を採り上げるかどうか、生徒会として検討した上で、採り上げることになったら、生徒会が窓口になって学校側に働きかけます」といったものになるはずなのである。

それなのに「土・日は門は開いていません」といった、学校を管理しているような発言があったのは、ちょっと勇み足だったのではないだろうか。この発言がきっかけとなって、門の管理を生徒会に頼めるのではないかとといった雰囲気になってしまい、それが図書室や自習室の利用に関する、これまた生徒会が本来答弁しなくてもよいような、余計な類似発言を生み出すきっかけとなってしまったのである。

結局、簡単に「生徒会の答えられる課題ではない、しかし、生徒会として取り組む課題とする可能性はある」とだけ答えて議事を進行していれば、最後に時間が押して質問を打ち切るような事態にはならなかったのではないかと思われる。

もう一つ、その議事打ち切りに関して「W先生が時間の関係で打ち切りと言ったので」と説明したのは、ちょっと「生徒総会」としてはプライドがなさ過ぎるのではないかなあと私は感じた。前述のように、この総会の主役は生徒なのであって、教員が議事進行に口出しなどしたら、かえって「先生は黙っていて下さい!」といった感じになるのが本来なのである。だから、質問を打ち切られた生徒が「終了時間がいつなのか、前もって決まっていたのか」と発言したのは、逆に極めてまっとうな意見といえるだろう。

打ち切られた質問も後でちゃん受け付け、それに対しての回答を掲示で示すとした生徒会の対応は立派だったが、そうなる前に改善すべき点が色々あったのではないかと思う。

*

「ひびやくん」と「星陵ちゃん」の話題は、まさに生徒会が取り組むべき課題で、あのやりとりは面白かった。その場でみんなの意見を聞いてイントネーションを決めたのも（まったく逆の結果だった気がするが…笑）イイ感じだった。ただ、行事が目白押しの忙しい前期日程を考えると、本当に「7月までに原案をまとめる」ことが可能なのか、ちょっと不安を感じるころではあるね。